



徳山 威雄
誠勇会

新教育長の教育方針は

問 7月に就任した三好教育長が描く、福山市の子どもたちの教育方針は。

答 これからは、課題そのものを自らが発見し解決する力、必要な情報を取捨選択する力、コミュニケーション能力などが求められる。「何を知っているか」ではなく、

「知識・技能を活用して何ができるか」がさらに問われる。教師が教え込む授業から、子どもたちが自ら考え学ぶ授業へと改善していくことが極めて重要と考える。

問われているのは常に我々大人だと思っている。大人こそ最大の教育環境である。福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てることが、私の使命であると考えて。「すべては子どもたちのために」全力を尽くす。



田中 光洋
誠勇会

子育ておよび家庭教育支援は

問 ①乳幼児教育の考え方は。②乳幼児教育への取り組みは。③学区・町内単位等の子育て支援活動は。

答 ①乳幼児期の保育、教育に重要な役割を果たすものは家庭であり、また保育所や幼稚園等の集団生活の場である。さらには、さ

まざまな人々との交流や身近な自然との触れ合いを通して豊かな体験が得られる地域社会である。乳幼児期はこれらを踏まえて特に、家庭と保育所、幼稚園等が十分な連携を図りながら、一人一人の子どもに望ましい発達を促すことが大切であると考えている。

②エフピコRiM7階にふくやま子育て応援センター「ことばの相談室」を新たに開設するなど機能拡充を図っている。
③公民館等を会場に、子ども、保護者の交流や育児相談、子育て講座等が行われている。



藤原 平
誠勇会

過大介護報酬の返還請求 事案の発生原因は

問 なぜ過大請求となったのか、事件の様子は。

答 本年1月、当該法人が運営する介護保険事業所に対して監査を行ったところ、法令で定める人員配置について一部欠員が生じており、それを原因とする介護報酬

の請求誤りが認められたため返還を求めたもので、本件は介護報酬請求に当たって、人員配置基準の解釈を誤ったことによるものである。

本年6月には、市内の特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人に対して適切な運営を促す研修会を開催、さらに7月には、市内の全事業所を対象に県と合同で、人員基準や介護報酬の請求事務について集団指導を行った。



河村 晃子
日本共産党

正規職員の保育士増加を 求める

問 年度途中に、入所する子どもの人数に応じて保育士の追加配置をするが、保育士がすぐ雇用できない場合がある。保育現場の事務作業も相当あり、正規の先生は帰宅が遅くなるなど多忙化を極めている。

この9年間で公立保育所の非正規の保育士は224名から372名と増加しているが、保育士確保の取り組みと職員の人材育成は。

答 保育士確保の取り組みは、広報ふくやま、広島県保育士人材バンク等を活用し、職員確保に努めている。

職員の人材育成は、正規職員、臨時職員にかかわらず、保育内容をはじめとする各種研修会を行う中で、保育力の向上に努めている。